

プロジェクト 経営の効率化に向けた農地の集積・集約化等

目 標

・担い手への農地集積率 R5.3月末：58.1% → R17：80.0%

挑戦する内容

・地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化
・離農者の農地などの経営資源の計画的な第三者継承

関係者の声
＝対話

・作業効率化のため、基盤整備の実施や農地の集約化が必要（担い手農家）
・産地の維持には計画的な経営継承が必要（農業団体）

役割分担

・市町村：地域計画の実行・見直し、農地集積・集約化に向けた総合調整
計画的な経営継承の気運醸成、経営継承の相談対応
・農業委員会：農地の所有者の意向把握、貸借等のマッチング活動、計画的な経営
継承気運醸成、活用可能な農地情報の発信
・農地中間管理機構：農地の受け手の情報提供、農地中間管理事業を通じた農地貸借等の
実施
・県：地域計画実行・見直しへの支援、基盤整備の実施、経営継承の情報
提供及び相談対応、農業参入企業の技術習得支援・活用可能な農地
の情報発信

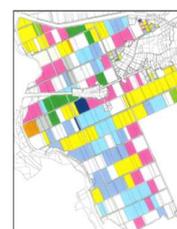
変革後の姿

・地域の話合いに基づき、担い手に農地が集積・集約化され、農地が有効に活用

令和8年度計画

挑戦する内容

- 地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化
 - ・地域計画の着実な実行・見直し支援
 - ・主要な地域や対象者への農地中間管理機構（農地バンク）活用の働きかけ
 - ・法改正を踏まえた農地バンクによる農地貸借・売買制度の周知
 - ・農地バンクの体制強化
 - ・農地中間管理機構関連農地整備事業等の実施
 - ・基盤整備実施予定地区における地域営農ビジョンの作成支援
 - ・農地集約化促進事業の活用による農地集積・集約化の促進
 - ・農業委員会による農地利用の最適化活動への支援
- 離農者の農地などの経営資源の計画的な第三者継承
 - ・地域計画と連動した継承の支援
 - ・現在及び将来の売買・貸借可能な農地情報を公開する「青森県農地情報サイト」の充実



A地区の現在の農地利用



将来の農地利用目標（イメージ）



青森県農地情報サイト

対話

- ・農業委員会を対象とした研修会等における農業委員等との意見交換（5月、6月、2月）
- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、出された意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・基盤整備新規予定地区の関係機関で構成される地区推進協議会において意見交換及び基盤整備を希望する地域や土地改良区等による情報共有（9月）
- ・地域計画の着実な実行・見直しを支援するための市町村との意見交換（随時）
- ・将来の担い手の明確化に向けた地域計画見直しのための座談会等による農業者等との意見交換（随時）
- ・市町村との連携による地域計画と連動した計画的な第三者継承の気運醸成及び農地の受け皿となる担い手との意見交換による課題等の把握と支援策の検討（随時）